

住民説明会の結果について

- ① 1月6日 第1回波岡地区対象住民説明会(波岡中学校体育館) 住民出席者39名
 ② 1月7日 第2回波岡地区対象住民説明会(畑沢公民館) 住民出席者32名
 ③ 1月8日 第3回波岡地区対象住民説明会(八幡台小学校体育館) 住民出席者27名

①第1回波岡地区対象住民説明会質疑取りまとめ(平成30年1月6日 波岡中学校体育館) 住民出席者39名	
質 疑	回 答
<p>・羽鳥野ルートは、いつごろ工事着工する予定か。</p>	<p>・市道135号線がある程度目安がついた段階で、羽鳥野ルートの整備に着手したいと考えている。大体、平成34年、35年の2ヵ年で市道135号線と羽鳥野ルートの工事を終えたいと考えている。</p>
<p>・道路をどのように拡げるのか、具体的な話が全然ない。みな不安に思っている。</p>	<p>・道路の線形等は、順序立てて申し上げると、現況測量を行い、その後に詳細な線引きを作成していくことになる。それができない具体的なお話ができないため、今その詳細設計を行っているところである。なるべく早い段階で地権者の方々を集め、道路として欲しい用地に関して詳しく地権者の皆さんにお話したいと考えている。</p>
<p>・市道136号線には歩道を付けないのか。</p>	<p>・市道136号線は、車道の幅が3m、路肩として1mを両側に設け、片側に歩道として2.5m、合わせて10.5mの道路幅員で整備する。</p>
<p>・都市計画道路について、植樹帯は設けないとのことだったが、歩道を広くし、できれば自転車も通れる自歩道にしてほしい。</p>	<p>・都市計画道路部分について、歩道3.5mのうち1mが植樹帯部分となるが、樹木の管理が行き届いていないのご指摘があることや、この地域は道路脇に樹木が生い茂っているなど、環境が整っていることから、申し訳ないが1m削り2.5m歩道とし、道路幅も16mから14mとして検討している。自歩道については、より広いスペースを確保しなければならないため、路肩として確保する1.5mを自転車の通行帯として考えていただきたい。</p>
<p>・今回整備する市道だけではなく、その周辺も一度見直し、舗装の修理など、一緒に整備してほしい。</p>	<p>・周辺道路の不具合箇所等については、地元の皆さんとお話をしながら手がけていければと考えている。</p>
<p>・市道136号線につながる君津市の道路について、君津市とすり合わせはしていないのか。そういったことも集約し、説明してもらえれば安心できると思う。</p>	<p>・細かいすり合わせはしていない。市道136号線に関しては、木更津市と君津市を縦断する道路なので、君津市とも相談しながらやっていきたい。</p>

新 火 葬 場 に つ い て	<ul style="list-style-type: none"> ・火葬タイムスケジュールが、かなりタイトなスケジュールを組んでいるように感じるが、設備が故障した場合でも余裕があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・火葬タイムスケジュールは、火葬件数のピーク時におけるスケジュールとなっているため、しばらくは余裕があるものと考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・排ガス処理設備は、各炉ごとに設置するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・排ガスの防止対策として、1炉ごとに排ガス処理設備が付いている施設と、2炉で1つの排ガス処理設備が付いている施設がある。両方メリット、デメリットがあるため、もう少し時間をかけて仕様を決めていきたいと考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害が発生したときのことを考え、施設を分散化することは考えなかったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害時、道路も遮断されるような状況になった場合には、火葬場そのものにたどり着けない状況になるため、それはやむを得ないところもあるが、火葬場単体としては、大規模災害時でも供給が途絶することのなかった都市ガスを燃料として使用し、また安全確認のため供給が一旦止められた場合でも、3日間耐えられる予備燃料のガスを備蓄する方向で考えているため、対応していけるものと考えている。
進 入 路 に つ い て	<ul style="list-style-type: none"> ・国道127号の波岡交差点から南方向へ200m進んだ先に交差点があり、現在通行止めだが左に曲がると火葬場の近くまで道路がつながっている。その道路は市として考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・火葬場整備の工事車両の通行ルートとして、その道路の使用を当初計画しており、昨年度、地権者と交渉を開始した。14名の地権者がおり、何とか利用させて欲しいと交渉したが、どうしても駄目だとの返答だった。このままでは火葬場本体の工事も進まなくなってしまうという状況の中で、火葬場東側の都市計画道路の計画線、いわゆる羽鳥野ルート、まず火葬場整備のための工事車両の通行ルートとして整備し、工事車両の利用が終わり次第、都市計画道路として整備していくこととなった。
	<ul style="list-style-type: none"> ・工事中の工事車両のルートを教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事車両の通行ルートは、行き帰りともに、波岡駐在所そばの交差点から館山道の側道を通り、羽鳥野4丁目と5丁目の間の道路を経て羽鳥野ルートを通ることになる。
建設場所について	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、火葬場の建設場所を今現在の場所に決定したのか、その経過を知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度から、袖ヶ浦市と共同で火葬場を造ろうと事業を進めてきた。ご存知のとおり、袖ヶ浦市は火葬場がなく、本市の火葬場が老朽化しているということで調査研究に入り、まずは2市でどうしようかという中で、本市としてはこれまで通り、本市内に火葬場を建て替えたいということで進めてきた。 建設候補地としては、ほかに市内3か所を候補地としてピックアップし、現在地を含めた4か所の中で、最適地ということで現在位置を候補地として決定させていただいた。
交通安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・国道127号から羽鳥野ルートまでが整備されると抜道として相当な交通量になると思われるが、その際の安全対策について教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事中の安全については、必要な部分に交通整理員等を配置したり、また学校があるので、登校時等の時間を規制する等検討する。信号機については、交差点協議というものを警察と行き、より安全な通行を考えていく。
上総聖苑に	<ul style="list-style-type: none"> ・君津の上総聖苑について、新たな火葬場が供用開始となった後も稼働する可能性があるとのことだが、具体的にどれぐらいの期間稼働する予定なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元からは残して欲しいという声も上がっているようで、現在のところいつまで稼働させるのか、いつ閉めるのか等はまだ決まっていないようである。上総聖苑については、君津市の政策判断によることになる。

<p>そ の 他</p>	<p>・不動産屋に確認したところ、家の前を毎日霊柩車が通るような、そういう問題のある家は不動産価値がゼロになると聞いている。そうなった場合、市でその責任は取ってもらえるのか。</p>	<p>・霊柩車が通ることによる不動産価値の低下に対し、市が責任を取れるのかというお話については、申し訳ないが責任を取ることはできない。</p>
	<p>・単純計算で4倍の霊柩車が通ることになり、4倍になった霊柩車の数は見たくない。ルートを変えるなり、桜などを植えて目隠しをするなり、対策を考えてほしい。</p>	<p>・都市計画道路を八幡台、羽鳥野のほうから新しく整備するなど、周辺道路整備を実施する。そのため、葬儀車両の通行ルートも分散化するものと思われる。</p>
	<p>・波岡中学校の先の交差点から火葬場へつながる道路に、霊柩車を1台も通さないよう約束してほしい。</p>	<p>・100%約束となると対応に限界があるため、ご希望に沿うような中で、一生懸命出来ることをやっていきたいと思っている。</p>

②第2回波岡地区対象住民説明会質疑取りまとめ(平成30年1月7日 畑沢公民館)
住民出席者32名

質 疑	回 答	
道路整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・市道136号線を拡幅することは可能か。 ・市道136号線から君津へ抜ける道路も、人や車がよく通る。そこを早急に整備しない限り、絶対に事故が起きると思う。 ・市道135号線は非常に狭い。ここは火葬場の供用開始後に整備するスケジュールとなっているが、逆ではないか。 ・葬儀車両が市道136号線につながる八重原方面から来ることを想定しているのであれば、君津市にもはたらきかけるべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・136号線の東側は地権者が多く、市外の方もかなりいる。西側については、ある程度地元の方が多いため、場合によっては西側に広げるなど色々な方法を考えながら、なるべく用地を確保し道路幅を拡幅して火葬場の供用開始に間に合うよう頑張っていきたいと思っている。また、さらに安全を考えるとということで、信号機の設置等も警察と協議しながら進めていきたいと考えている。 ・君津市にも働きかけ、協議しながらやっていきたいと思っている。 ・都市計画道路を全て整備し、火葬場の供用開始までに間に合えば非常によかったが、それはかなり厳しいため、もろもろの状況を判断しながら、整備スケジュールは考えさせていただいた。現状、確かに135号線は狭い。狭い中でも子どもたちの安全等を考慮するなど、通学路として安全な環境を考えているので、今のスケジュールで進めていきたいと考えている。 ・君津市では、その道路を拡幅することについて、政策としてはまだ出ていないと伺っている。また、ここを君津方面からの葬儀車両が通るのかどうかは、基本的には4市の葬儀事業者と行政との間で、進入路について確認をしていきたいと思っているため、この道路が現道のままということであれば、道路が狭いため、なるべく遠慮していただきたいと思っている。いずれにしても、行政と葬儀事業者との間で、火葬場の利用に関して安全を第一に考えて取り決めをしていきたいと考えている。
交通安全対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・羽鳥野地区に工事車両が入ってくるが、通学路における安全確保はどのように対応するのか。 ・仮に工事車両が200台通るとして、通学の時間帯は避ける等の話は具体的に出てくるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路における具体的な安全対策としては、交差点への警備員の配置や警察との信号機設置の協議、あるいは通学時間帯の工事車両の通行を制限するなど、教育委員会ともしっかりと協議を進め、できる限りの安全対策を取っていききたいと考えている。 ・安全確保という中で、できる限りのことを市としては当然やっていく。
進入路について	<ul style="list-style-type: none"> ・羽鳥野ルートは工事車両しか通れないとのことだが、夜などはどう封鎖するのか。 ・工事車両の進入路は、羽鳥野のみか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間は締め切りにする形を取る。 ・工事車両の進入路としては、羽鳥野ルートで進めさせていただき、ということをお願いしたい。

新火葬場について	<ul style="list-style-type: none"> ・今回造ろうとしている火葬炉は、全国的に実績のあるものか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおり。排ガス設備も含め非常に優れた設備となっている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・今の火葬場では、お骨を拾うまでに大体2時間かかる。新たな火葬場では、どれぐらいかかるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状とあまり差はないと思うが、若干短縮されると思う。
交通量について	<ul style="list-style-type: none"> ・羽鳥野ルート of 整備が始まると、ダンプなどは1日に何台ぐらい通るのか、時間帯は具体的に決まっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車両台数は、現在測量中なので、その結果が出ないと何とも言えない部分があるが、造成に関しては約4万1000㎡、ダンプの台数で言うと、7500台強となる。造成の期間は、こちらの試算では4か月から6か月かかると予想しており、そうすると単純計算で、1日多くても200台は行かないだろうと思う。
工事車両について	<ul style="list-style-type: none"> ・市道234-2号線沿いに住んでいるが、地元の道路には、工事車両を絶対に通らせないようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事車両は館山道の側道を使用して出入りするよう、工事関係者に対し徹底していきたくと考えている。
施設整備費について	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備費について、4市が均等に費用負担をするべきと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・去年の暮れに4市の副市長会議、それと4市の市長が集まる会議があり、各市の負担部分についても概ねよい方向でまとまってきている。間もなく4市の負担割合についても、お話できる時期が来ると思っている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の道路整備において、畑沢川をまたぐ場所が結構あると思うが、川の護岸など、下流に住んでいる人たちのことも考えた対策を考慮してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の護岸整備のご要望については、ある程度支障があるところに関しては、パトロールをしながら、国の補助金等によって少しずつ手をかけている。ただ、やはり河川の整備に関しては、全て一気にというのはなかなか難しいので、パトロールも強化しながら、河川の支障があるところは直していきたいと思っている。

③第3回波岡地区対象住民説明会質疑取りまとめ(平成30年1月8日 八幡台小学校体育館)
住民出席者27名

質 疑	回 答
<p>・工事車両の進入路が羽鳥野ルートに変更されたが、変更前の進入路はどこだったのか教えてほしい。</p>	<p>・国道127号に隣接している、過去に砂利採取のための大型車両が通行していた道路跡地を利用し、国道127号から入って市道136号線、234-2号線を通って火葬場に向かうというルートを生計画していた。昨年、地権者の元に交渉に行ったが、了解が得られないという状況に陥り、新たな進入路を確保しないと火葬場整備ができないという状況であったことから、昨年11月に工事車両の進入路を羽鳥野ルートに変更し、進入路としての使用が終了した後に、もともとの計画線である都市計画道路として整備し供用していく、という計画変更に至った。</p>
<p>進 入 路 に つ い て</p> <p>・なぜ、今ある道路ではだめなのか。</p>	<p>・現道は橋も含め道幅が狭く、道路幅全体を整備するとなると、時間がかかり事業が進まない状況となるため、羽鳥野ルートを使用する計画に変更させていただいた。</p>
<p>・当初の君津ルートはなぜ使用できないのか。</p>	<p>・そのルートは、道路の構造はしているが民有地であることから、地権者と交渉してきた。だが、それがうまくいかなかったため、工事車両の通行ルートをどうするか再度検討したところ、今回の羽鳥野ルートをまず工所用道路の進入路として活用していきたい、これしかないという結論に至った。</p>
<p>・工事車両のルートを分散させられないのか。</p>	<p>・工事車両の通行ルートを分散させるとなると、多くの道路を通行することとなり、安全が確保できないことも考えられるため、工事車両は1つのルートで管理し、安全には細心の注意を払っていきたい。 また、今回PFI事業として実施することから、事業者を決定する際、例えば安全性について十分考慮した上で採点し、事業者を決定する形を取っていきたく思っている。安全について、一番重要ということで事業を進めていくので、ご理解いただきたい。</p>
<p>・市道136号線に重量制限のかかった橋があり、そこを大型車両が通れないため羽鳥野ルートに変更したとのことだが、橋を直すことは検討しなかったのか。</p>	<p>・橋梁には確かに重量制限があるが、それをかわしていくことは当然できると思う。ただ、道路をすべて拡幅した中で火葬場の建設ができると良いが、それには時間がかかってしまう。</p>
<p>・君津ルートについて、いろいろ交渉したが難航したという話だが、それは木更津市が交渉に当たったのか。それとも君津市を巻き込んで交渉したのか。</p>	<p>・君津ルートの、いわゆる民有地の交渉については、君津市と木更津市と一緒に協議をしながら、直接交渉については木更津市が一軒一軒伺っている。</p>
<p>交 通 安 全 対 策 に つ い て</p> <p>・都市計画道路が整備されると交通量が非常に増える。交通量予測もしていると思うが、その予測を行い、どのような対策が必要か具体的なものが出た時点で説明していただきたい。</p>	<p>・市道135号線及び羽鳥野ルートが、都市計画道路の大久保畑沢線のラインで整備されると、国道127号側及び羽鳥野側両方の交通を引き込むことになり、今後どうなるか慎重に検討しなければならないと考えている。おっしゃるとおり、交通量推計を現在実施しているところで、その状況を見ながら道路線形等を詳細設計で細かく決めていく、そういう流れとなっている。</p>
<p>・歩道へのガードレールの設置や、自転車通学の中学生に対する安全対策はどう考えているのか。</p>	<p>・小学校、中学校、子どもたちの交通安全対策が、今回の工事を進めていく中では最も重要な対応だと認識している。工事の前に、交通安全対策に関して教育委員会、関係機関等と万全の対応を図っていきたく思っている。</p>

交通安全対策について	<ul style="list-style-type: none"> この計画だと、子どもの安全が二の次になっていると思う。なぜ工事車両を羽鳥野内の通学路に通す計画になっているのか、もう一度計画の再考をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ご心配されているお子様方の通学上の交通安全に関しては、例えば具体的な例で申し上げますと、通学時間帯の工事車両の通行禁止や制限、それから、交差点等の危険な場所については監視員を張りつける、というような対応をしていきたいと思っている。 また、信号機の設置についても、今後警察署と協議しながら、早い時点での設置に向け努力していきたいと考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> 館山道の側道には、信号機がない交差点があり、非常に危険だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘のとおりで、この件に関する心配は多くいただいている。館山道の側道が八幡台小学校、波岡中学校の通学路になっているため、この部分の安全確保については第一に考え、できる限り対応していきたいと考えている。
工事車両について	<ul style="list-style-type: none"> 土砂を搬出する際、工事車両はどこかに待機しなければならないと思うが、路上駐車して待つことになるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 通行している道路内に待機させることはない。どういう形にするかは今後になるが、どちらにしても道路を造る際には、火葬場の敷地内で待機させる等の処置を取らせる。
	<ul style="list-style-type: none"> 工事車両の通行について、学校が8時までに登校となっているので、8時以降に工事車両を入れるという方法を考えてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘のとおり、そのような規制をしっかりとった中で、安全対策を行いたいと思っている。
	<ul style="list-style-type: none"> 工事車両は、館山道の側道に来る前はどこを通るのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 真舟方面から県道大鷲木更津線を含めて通過することになると思われる。
	<ul style="list-style-type: none"> 工事車両は、羽鳥野側及び国道127号側の双方を通行させるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 羽鳥野側のみ通行させることを考えている。
道路整備について	<ul style="list-style-type: none"> 羽鳥野から国道127号につながる都市計画道路を整備すれば、市道3路線を整備する必要はないのではないか。また、館山道の側道は現状でも危険だが、工事車両や葬儀関係車両が通行することになれば、さらに危険になることを考えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路を全て整備すれば済むのではないかと、というお話かと思うが、新火葬場の供用開始時期等の問題もあるため、都市計画道路をその時期に合わせてすべて造ることは不可能に近い。そのため、やむなく市道3路線を拡幅するという選択肢を選び、火葬場のアクセス道路として使用することとした。将来的には、都市計画道路の整備は必要であると考えているが、時間的には間に合わない。もったいないというお話も確かにあるが、総合的に考えた中でこういう選択をしなければならなかった、ということでご理解いただきたい。 造成工事の際は4か月ほど車両の搬入が続き、1日約100台、往復で200台という話をさせていただいた。造成工事が終われば、工事車両の台数は減っていくことになるが、生コン車の数ぐらいしか今のところ申し上げられないため、それをご紹介させていただいた。葬儀関係車両の台数は、試算的には火葬1件に対して普通車6台、マイクロバス1台として計算している。
	<ul style="list-style-type: none"> 市道136号線は、資料にある工程表を見ると、一部供用開始後に工事が入っているが、供用開始前に全部完成していないとまずいと思う。供用開始に間に合わない部分はどこか。 	<ul style="list-style-type: none"> 市道136号線は、用地に問題があることを確認している。確かに、道路整備完了時期が火葬場の供用開始時期を少し過ぎてはいるが、火葬場の供用開始までに安全を確保できる形態で整備する予定でいる。
	<ul style="list-style-type: none"> 火葬場から羽鳥野ルートにつながるまでの道路について、これが林道なのか、それとも市道なのか教えてもらいたい。林道であればなるべくそのままにして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在は林道宮内線という、八幡台に抜ける林道になっているが、今回の計画の中では、羽鳥野ルートの接合部分から火葬場までの部分を市道に認定した上で、市道234-2号線の延長として整備することを計画している。

交通量について	<p>・造成工事による発生土、搬出土量がいくらあり、ダンプの台数が何台なのか教えてほしい。それから、今はわからないかもしれないが、羽鳥野ルートを使用した工事車両の通過台数がいくらになるかきちんと出し、それに対する万全な交通安全対策をお願いしたい。</p>	<p>・基本計画での事業計画を前提とした場合、発生土量が4万1000m³程度となる。造成工事では約6か月程度かかると試算しており、ダンプの通行量は月に約2000台、これが続くことになる。そうすると1日で100台弱、私どもの試算で94台となるが、往復で200台弱と試算している。建設工事に入ると台数が減り、例えば生コン打設を行う場合は、1日約9台程度と考えている。</p> <p>建設工事に入り、4か月後あたりから造成に入るが、工事に入ってから4、5、6か月目ぐらいが、工事車両の通行台数がピークになると考えている。</p>
い	<p>・葬儀関係車両の想定数が普通車6台、マイクロバス1台とのことだが、少ないと思う。きちんと統計を取って出しているのか。</p>	<p>・経験値の中で得たもの以上の台数ということで想定しているため、葬儀関係車両の想定台数は、平均以上ということになる。</p>
新火葬場に	<p>・新火葬場では都市ガスを使用とのことだが、現在の燃料は何を使用しているのか。また、都市ガスの配管はどこから引くのか。</p>	<p>・現火葬場の燃料は、灯油を使用している。また、都市ガスについては、市道136号線にガスの中圧管が既に敷設されているので、市道234-2号線の交差点からガスの中圧管を延長し、火葬場まで引く計画である。</p>
そ	<p>・今後、自治会に入っていない住民に対し、今回のような説明会があることをどのような方法で周知するのか。</p>	<p>・説明会開催についてのご連絡の方法について、市のホームページで情報をお知らせする、あるいは自治会に入られていない皆様の各家庭への連絡を個別にできるように対応することなどを、検討していきたいと思っている。</p> <p>また、今日の説明会の情報が届かず、この説明を聞くことができなかったという方がいらっしゃる場合には、別途ご説明の機会を考えていかなければならないと考えている。</p>
の	<p>・掘削する際に砂埃が相当発生すると思うが、風が強い地域なので、強風が吹いた時の対策などを教えてほしい。</p>	<p>・防砂シートなど、様々な工法があるが、どのような対策を取るか具体的なことはまだ決まっていない。当然予想される話ではあるので、今後検討していく。</p>
他	<p>・もっと具体的なデータが出てからの説明は、いつ頃出来るのか教えてほしい。</p>	<p>・施設整備の具体的な内容については、事業者が決まってからとなる。事業者の選定を1年かけて行う予定であるため、早ければ来年の終わりぐらいになる。</p> <p>周辺道路の整備に関しては、現在詳細設計を行っている最中であり、警察協議等を経て地元にご説明ということになると、来年度の早い時期にと考えている。</p>